

資料No.1

江田島市公共交通協議会
平成29年1月25日

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）の事業評価について

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）の事業評価を実施・報告するに当たり、協議会において構成員の意思を反映する必要があるため、平成28年12月27日付けで各委員へ書面審議を諮った。

その結果、次のとおりとなったため、これを報告する。

1 書面審議結果

(1) 書面審議を依頼した人数

江田島市公共交通協議会委員 19人

(2) 審議内容

① 回答された人数 19人

→ 委員全員から回答を受けており、江田島市公共交通協議会規約第7条第2項の規定における半数以上の回答を得たため、書面審議が成立した。

② 審議結果

・承認された人数 19人 ・承認されなかった人数 0人

→ 委員全員から承認を受けており、江田島市公共交通協議会規約第7条第3項の規定における出席者の過半数の承認を得たため、事業評価は承認された。

(3) 事業評価に対する意見等

- ・出前講座の取組みを行い、宣伝・広報活動も兼ねて積極的に住民の声を取り入れ、より使いやすく、便利なものに改善してもらいたい。
- ・航路との接続だけでなく、島内の病院への通院のために活かせる路線の工夫もしてほしい。

→上記2点の意見を、事業評価の「事業の今後の改善点」に加えた。

2 事業評価の提出

- ・平成29年1月13日付けで広島運輸支局へ、書面3部及び電子データを提出。
- ・今後、第三者評価委員会において、二次評価を受けることとなる。

3 今後の予定

- ・二次評価の結果等を踏まえ、平成29年6月頃に、平成30～32年度の認定申請を行う予定。
- ・認定申請に際し、本協議会委員の承認が必要となるため、来年度本協議会において協議していただく予定。

協議事項

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持事業)の事業評価について

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持事業)の事業評価を実施・報告するに当たり、協議会において構成員の意思を反映する必要があるため、次のとおり協議する。

1 計画の名称

江田島市地域内フィーダー系統確保維持計画

2 事業実施期間

平成27年10月1日から平成28年9月30日まで

3 事業評価の概要

平成22年10月から市内の交通空白不便地域の移動手段を確保する目的で運行している予約乗合型タクシー(おれんじ号)の運行について、事業評価(自己評価)を行う。

| 運行系統 | 運行日等 | 便数/日 | 適合基準等 | 運行事業者 |
|--------|-------|------|--------------------------------|------------|
| 江田島北部線 | 月・水・金 | 4便 | ・補助対象地域間幹線バス系統への接続 ・過疎地域の運行 | (株)江田島タクシー |
| 大須朝夕便 | 毎日 | 5.5便 | | |
| 沖美北部線 | 月・水・金 | 4便 | ・過疎地域の運行 | 三高タクシー |
| 沖美南部線 | 月～土 | 4.5便 | ・補助対象地域間幹線バス系統への接続 ・過疎地域の運行 | (有)能美タクシー |

【主な記載事項】

- ・ 前回の事業評価結果の反映状況
- ・ 事業実施の適切性
- ・ 目標・効果達成状況
- ・ 事業の今後の改善点

4 事業評価様式

別紙(案)のとおり

5 その他

書面審議に諮り、委員から提出された意見を反映させた上で、中国運輸局長に提出する。

※フィーダー系統とは

港やバス停などにおいて、地域間交通ネットワークと接続する系統で、乗り継ぎに適したダイヤ設定など乗り継ぎの円滑化のための措置が講じられているものをいう。

「おれんじ号」は、港やバス停で船や路線バスとの接続を考慮したダイヤ編成を行っている。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年 1月13日

協議会名: 江田島市公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | |
|------------|-----------------------------------|---|-----------|-----------------------------|---|--|
| (株)江田島タクシー | 江田島北部線(江田島町) 大須～切串～小用 | ・運行区域に時刻表の配布を行った。また、港へのチラシ設置と掲示を行った。 ・網形成計画に沿って、航路との接続を主とした運行計画の変更を検討した。 | A | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | (目標) 系統全体の収支率は12.8%で、目標20%には届かなかった。 稼働率目標である上下便のいずれかの稼働率50%(大須朝夕便は25%)に達しない便が4便あった。 ・江田島北部線第3便 (上り)5.5% (下り)48.6% ・大須朝夕便第2便 (上り)6.8% (下り)0.0% 第5便 (上り)12.0% (下り)10.1% ・沖美北部線第2便 (上り)42.5% (下り)38.4% ・沖美南部線の全便とその他の便は、目標を達成している。 (効果) 地域内の通院や買物など、特に高齢者の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保された。 また、棧橋で広島行き航路との接続により、広島市への移動手段確保及び外出機会の創出に繋がった。 | ・江田島北部線、沖美北部線: 稼働率が目標を下回る便を中心として、住民からのニーズの高い航路との接続を改善できるようなダイヤ改正を検討する。 |
| (株)江田島タクシー | 江田島北部線(朝夕便) (江田島町) 大須～切串～小用 | ・運行区域に時刻表の配布を行った。また、港へのチラシ設置と掲示を行った。 ・網形成計画に沿って、航路との接続を主とした運行計画の変更を検討した。 | A | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | | ・江田島北部線(大須朝夕便): 通勤・通学目的でより利用しやすくなるよう、運行体系を再度検証し直し、利用者の増加を目指す。 |
| 三高タクシー | 沖美北部線(沖美町・能美町) 美能～高田～中町 | ・運行区域に時刻表の配布を行った。また、港へのチラシ設置と掲示を行った。 ・公共交通を守り・育てるため、公共交通に関する出前講座を行った。 ・網形成計画に沿って、航路との接続を主とした運行計画の変更を検討した。 | A | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | | ・沖美南部線: 路線バスと重複する区域の運行見直しを行い、ダイヤをより柔軟に設定できるようにした上で、住民からのニーズの高い航路との接続を改善できるようなダイヤ改正を検討する。 |
| (有)能美タクシー | 沖美南部線(沖美町・能美町・大柿町) 三吉～中町～大君 | ・運行区域に時刻表の配布を行った。また、港へのチラシ設置と掲示を行った。 ・網形成計画に沿って、航路との接続を主とした運行計画の変更を検討した。 ・地域住民から意見を徴収した。 | A | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | | ・出前講座の取組みを行い、宣伝・広報活動も兼ねて積極的に住民の声を取り入れ、より使いやすく、便利なものに改善する。 |

平成28年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

江田島市公共交通協議会

生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



江田島市の概要

- ・平成16年11月に4町が合併
- ・人口 27,031人(平成22年度国勢調査)
- ・面積 100.74km²

協議会の構成員

広島県、江田島市、学識経験者、広島県旅客船協会、江田島バス株、広島県タクシー協会江能支部、利用者又は住民代表者、中国運輸局・広島運輸支局、江田島警察署

概要

江田島市の公共交通は、市民の生活圏が広島市や呉市に及んでいることから、必然的に航路が基軸を担い、市内の主要拠点間の移動を路線バスが担っている。バスの路線体系については、路線一元化前の路線を引き継いでおり、幹線・枝線のメリハリが不明確であるなど、利用者の活動にマッチしていない部分もある。

マイカーが無ければ移動に不便を生じる地域が多く存在しており、高齢者等によりマイカーを利用できない方を中心に、通院・買物等における移動手段確保のニーズが高まりつつある。このため、路線バスを補完する公共交通として、一部の交通空白地域にフィーダー系統(予約型乗合タクシー)を導入している。

今後も引き続き、航路と路線バス、予約型乗合タクシーの連携を図り、棧橋や医療機関、商業施設など市民の移動ニーズに対応した、地域の「まとまり」と「つながり」を守る公共交通ネットワークの構築を進めている。

協議会の主な取り組み

- ・江田島市地域公共交通網形成計画の策定
- ・海上交通と陸上交通の連携強化
- ・路線バスやおれんじ号の利便性向上
- ・乗換環境の充実
- ・運賃負担感の軽減策の検討
- ・公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催など

協議会における検討

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 協議会の開催状況 | 3回開催 |
| ・第4回(1月19日) | 江田島市地域公共交通網形成計画(素案)の協議 |
| ・第5回(3月18日) | 江田島市地域公共交通網形成計画(案)の協議 |
| ・第1回(5月30日) | 地域内フィーダー系統確保維持計画についての協議 |

定量的な目標・効果

4系統【江田島北部線、江田島北部線(大須朝夕便)、沖美北部線、沖美南部線】

(目標)・系統全体の収支率20%

・上下便のいずれかの稼働率が50%(大須朝夕便は25%)

(効果)当該路線を維持・確保することで、地域内の通院や買物など高齢者の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。また、棧橋で広島行き航路(フェリー・高速船)との接続により、広島市への移動手段の確保及び高齢者の外出機会の創出に繋がる。さらには、利用実態に応じた最低限必要な便数を確保する等により、限られた財源の中で運行を継続・維持していくことが可能となる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・運行基準をもとに適切な運行を行いながら、最適で持続可能な移動手段について継続的に検討を行った。
- ・平成27年度に策定した「江田島市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の意見を参考にしながら運行計画の変更を検討した。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

- ・平成27年度に策定した「江田島市地域公共交通網形成計画」に基づき、航路との接続を主とした運行計画の変更を検討した。

実施した利用促進策

- ・運行区域に時刻表の配布を行った。
- ・港へのチラシ設置・掲示及びバス停への掲示を行った。
- ・ジャンボタクシー車両入替えのタイミングで、バリアフリーに対応した補助ステップ付き車両へと変更した。
- ・公共交通を守り・育てるため、公共交通に関する出前講座(自治会2回・中学校1回)を行った。

地域住民の意見の反映

- ・「江田島市地域公共交通網形成計画」の策定に当たり、地域住民へのアンケート調査を実施し(回収率 31.4%)、航路との接続改善を望む声が最も多かったことから、ダイヤ改正の検討を行った。
- ・4月と6月に、沖美町の三吉地区と岡大王地区において、公共交通に関する出前講座を行い、要望等の聞き取りを行った。主な意見として、アンケート同様、航路との接続改善を望む声が多かった。

事業実施の適切性

- ・江田島北部線、江田島北部線(朝夕便)、沖美北部線、沖美南部線：
計画どおり実施されている。チラシ配布や地元自治会への利用呼びかけを行い、地元自治会や事業者を中心に利用促進・維持が図られており、地域にとって必要な移動手段となっている。

目標・効果達成状況

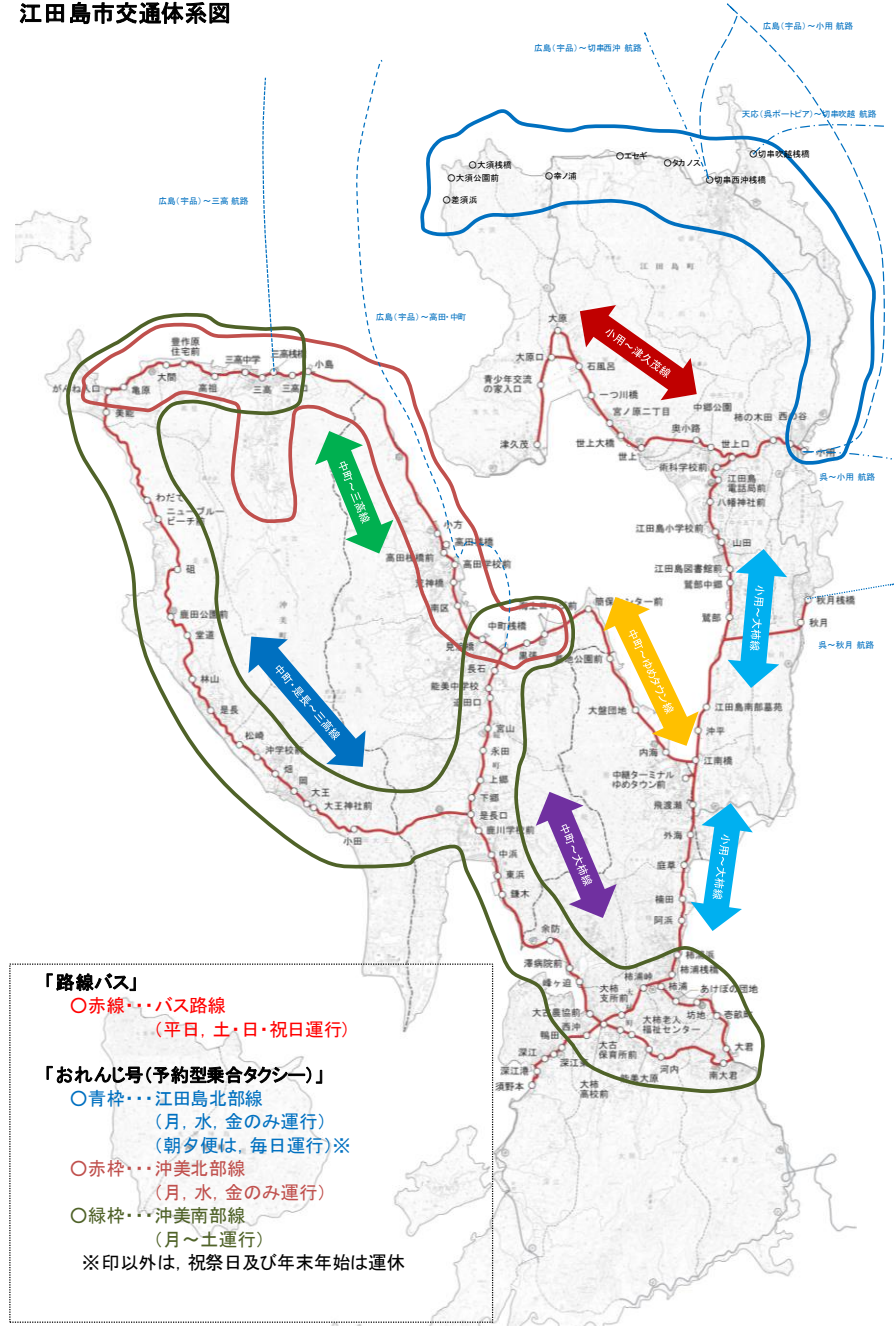
- (目標) 系統全体の収支率は12.8%で、目標20%には届かなかった。また、稼働率目標に達しない便が4便あった。(江田島北部線第3便(上)5.5%(下)48.6%、大須朝夕便第2便(上)6.8%(下)0.0%、同第5便(上)12.0%(下)10.1%、沖美北部線第2便(上)42.5%(下)38.4%)
- ・接続する航路のダイヤ改正に対応できていないことから、特に沖美南部線の利用者数が大幅に減っており、運賃収入の減少が収支率の低下につながった。
 - ・江田島北部線(大須朝夕便)では、利用が特定の便に偏っており、利用が少ない便が発生した。
- (効果) 地域内の通院や買物など特に高齢者の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保された。また、棧橋で広島行き航路との接続により、広島市への移動手段確保及び特に高齢者の外出機会の創出に繋がった。

事業の今後の改善点

- ・江田島北部線、沖美北部線：稼働率が目標を下回る便を中心として、住民からのニーズの高い航路との接続を改善できるようなダイヤ改正を検討する。
- ・江田島北部線(大須朝夕便)：通勤・通学目的でより利用しやすくなるよう、運行体系を再度検証し直し、利用者の増加を目指す。
- ・沖美南部線：路線バスと重複する区域の運行見直しをい、ダイヤをより柔軟に設定できるようにした上で、住民からのニーズの高い航路との接続を改善できるようなダイヤ改正を検討する。
- ・出前講座の取組みを行い、宣伝・広報活動も兼ねて積極的に住民の声を取り入れ、より使いやすく、便利なものに改善する。
- ・航路との接続だけでなく、島内の病院への通院のために活かせる路線の工夫を検討する。

交通体系図 別紙

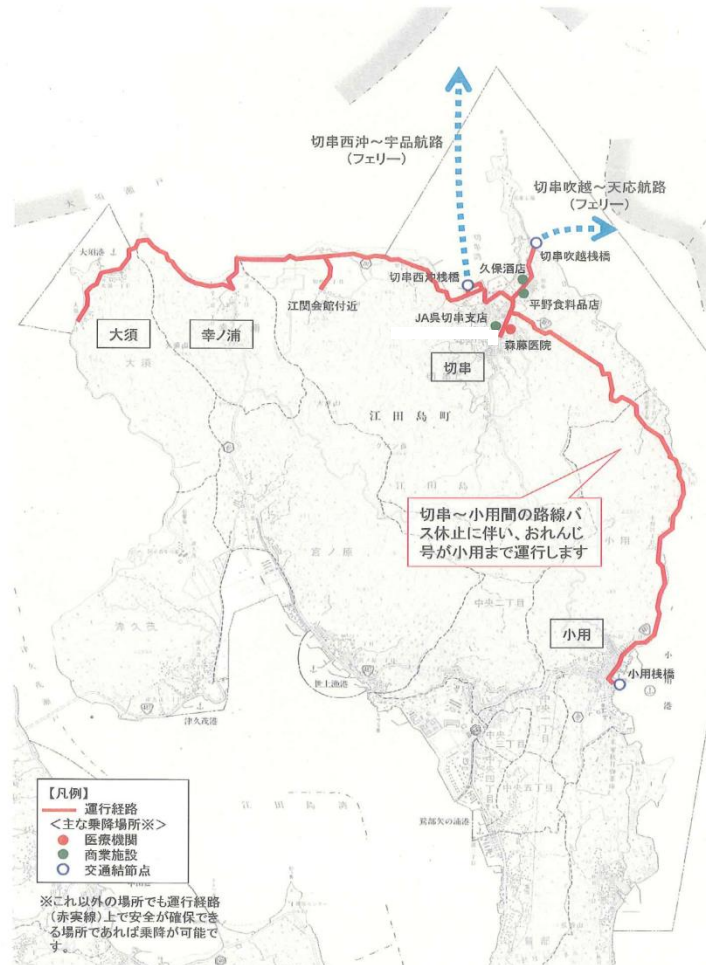
江田島市交通体系図



- 「路線バス」**
- 赤線・・・バス路線
(平日、土・日・祝日運行)
- 「おれんじ号(予約型乗合タクシー)」**
- 青枠・・・江田島北部線
(月、水、金のみ運行)
(朝夕便は、毎日運行)※
 - 赤枠・・・沖美北部線
(月、水、金のみ運行)
 - 緑枠・・・沖美南部線
(月～土運行)
- ※印以外は、祝祭日及び年末年始は運休

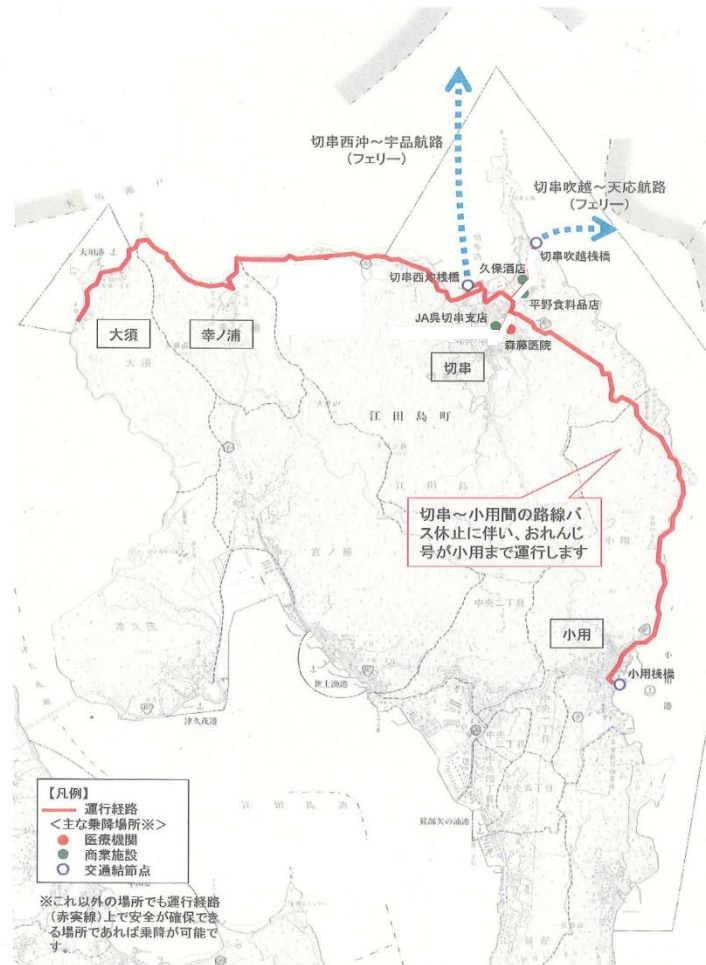
運行系統図 別紙

系統名 江田島北部線
運行形態 区域デマンド型
運行日・便数 月・水・金曜日運行(祝祭日・年末年始12/29~1/3は運休)・8便
運賃 1乗車につき300円(小学生以下は半額)



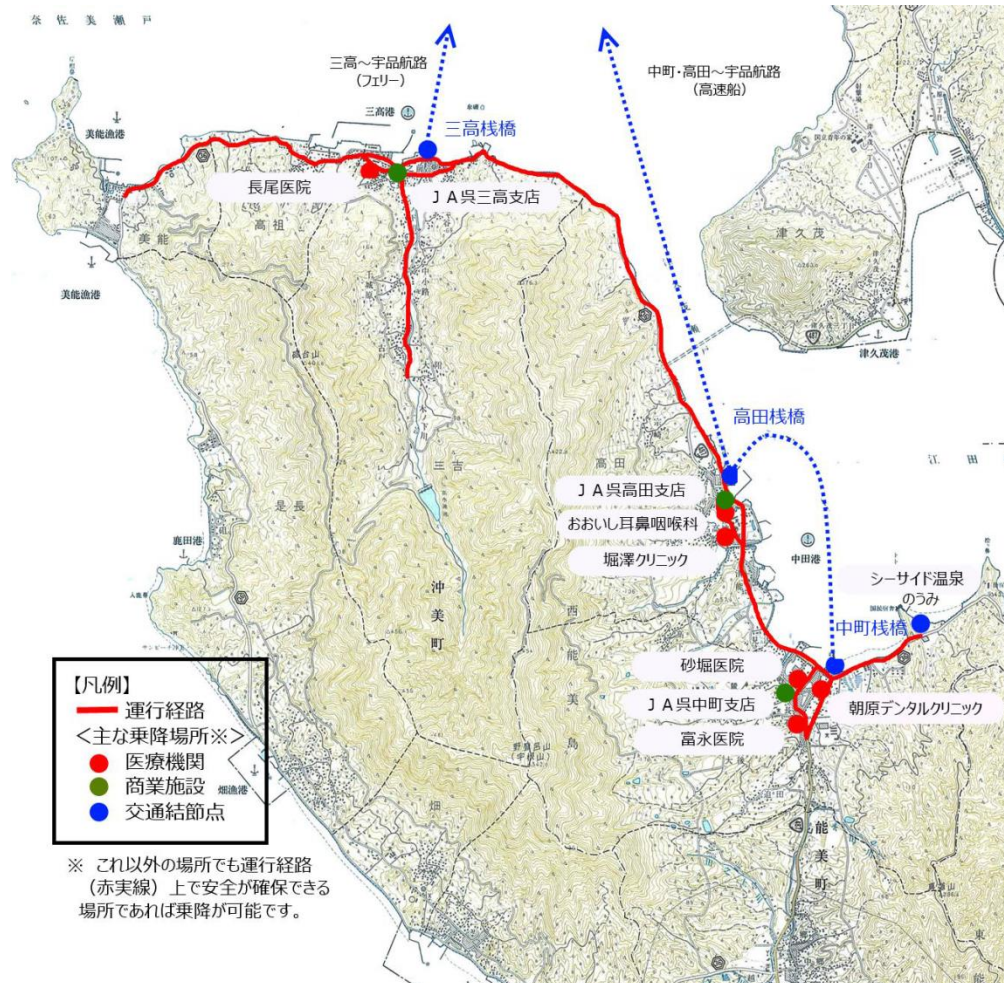
運行系統図 別紙

系統名 江田島北部線(大須朝夕便)
運行形態 区域デマンド型
運行日・便数 毎日運行・11便
運賃 1乗車につき200円(小学生以下は半額)



運行系統図 別紙

系統名 沖美北部線
運行形態 区域デマンド型
運行日・便数 月・水・金曜日運行(祝祭日・年末年始12/29~1/3は運休)・8便
運賃 1乗車につき300円(小学生以下は半額)



運行系統図 別紙

系統名 沖美南部線
運行形態 区域デマンド型
運行日・便数 月～土曜日(祝祭日・年末年始12/29～1/3は運休)・9便
運賃 1乗車につき300円(大柿町内で乗降する場合は600円、小学生以下は半額)

